

「自称」編集長の岡です

夏の日差しも強くなり、どこにも行ってないのに「どこか遊びに行かれました？」とよく聞かれる岡です。仕事の運転焼けなので、ほっといて下さい。

さて、しばらく前の話ですが、4月の桜の咲く頃、地元の商工会主催による花見ウォーキングというイベントが開催されました。大変多くの方が参加され、およそ10kmのコースを京田辺市の桜の風景を眺めながら、思い思いのペースで楽しんでおられました。

「ウォーキング」ということは、オーダーメイドのインソールを生業としてきた私たちが、参加しないわけにいかないということと、希望された方に、自社製のインソールを提供させていただきました。医療現場で培った経験を元に、多くの方に使っていただけるようにと、既製のインソールを作製したのですが、如何せん初めての経験だったので、うまく機能を果たすか、不安な部分もあり、ドキドキでした。

使っていただいた方からのアンケート結果は、10点満点中、平均8点。いやいや皆さん、気を遣っていただきありがとうございます。

今後ともより良い製品を作って参りますので、宜しくお願いします。



外反母趾がちょっと痛いんです。

やはり外反母趾にはオーダーメイドの方が良いようです。残念・・・

コース途中にインソールを微調整した方。痛みが取れて良かったです。

困みにお孫さんは駄々もこねずに歩ききったそうです。スゴイ！！



菜の花畑で、菜の花摘みを楽しむ参加者様。菜の花って食べれるんですね。この時知りました。(恥ずかしい)



京田辺市キウウ商店街のマスコット「キウウちゃん」

京田辺のマスコット「一休さん」

子供達の人気の的でした。

桜満開！！とはいきませんでしたでしたが、桜並木はやっぱりきれいでした。



3本足の人

昔、何かで見たなぞなぞです。「始めは4本、次は2本、その次3本これなんだ？」即答してしまいましたが、答えは人間でした。赤ちゃんの時は4本足、成長すると2本足、歳をとると杖をつけて3本足になるということでした。使い古されたなぞなぞのようですが、その頃は「そうか」と何となく納得していました。でも、今はふと考えたりします。歳をとるから杖をつくののでしょうか？

杖を使う方は、年配の方が多いのは事実です。よって、「杖をつく11年寄り」という印象があり、病院などで、お医者さん

から膝や腰の負担を軽くするために杖を勧められても、年寄りみたくて使いたくないという方をお見かけしたりします。ところで杖がなぜ負担を軽くするのか？ここで言う杖は手で持つてついて歩く、あの杖です。この場合、負担を軽くするために、体重を思いっきり杖に乗せて歩く、というわけではありません。なぞなぞにもあった、両足と、杖という3本の足で体を支える面積を広くして、重心を安定させるといものが正確な見方です。私たちは歩くとときに重心を安定させるために、知らない間に筋肉が頑張っています。しかし杖で体を支える面積を広くすると、この筋肉の頑張りを軽くして、歩くこ

この手助けをしてくれるので、つまり、杖をつくのとは、体を安定させることで、負担を減らし、安全に、歩くためであり、歳をとったからというわけではありません。ただ、加齢による体力の衰えや、関節の変形などは多かれ少なかれ、避けられないものなので、年配者の方が杖が必要になるのです。杖を使い、負担を軽減できれば歩ける距離が長くなります。歩ける場所も増えます。行ける場所が増えれば、その先々で経験できることが増え、人生をより豊かに過ごすことが出来る！！わーい！！というのは都合よく考えすぎでしょうか？

整形の小ネタ

初産女性の手首は危ない!?

仕事で病院の整形外科外来に出入りしていると、手首の腫瘍炎を患った女性をたまに見かけます。そういう方には手首のサポーターを処方されること良くあり、私たちのところに依頼がされます。話を伺うと、生後数ヶ月の赤ちゃんがいて、いずれも初産。そしてなぜか男の子が多い。首もすわって、片手で「ヨイ」と抱っこしているうちに、赤ちゃんといえど女性の細腕には負担が大きく、疲労が蓄積し、手首を痛めてしまうようです。

初めての出産を控えた方は、お気を付け下さい。

因みに弊社の女性スタッフは、「王将」でガシガシとビールジョッキを運んでいたのに、出産後も全然平気だったそうです。近所に王将がある方、試してみます？

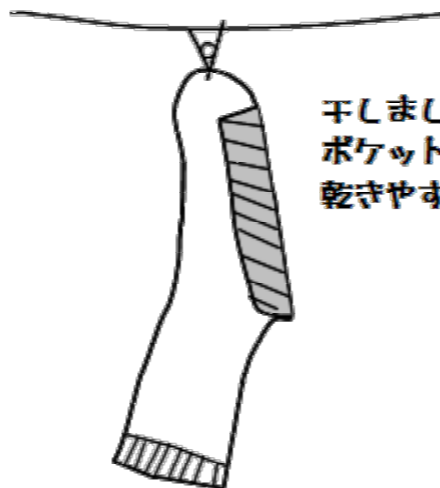
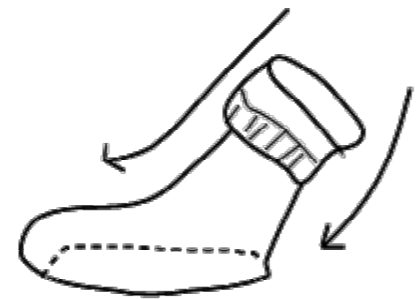


ワンポイントアドバイス

Pocksのお洗濯編

洗濯の後に、Pocksを干すときは

干しましょう。ポケットも乾きやすいです。



ペロペロと
ひっくり返してから

